

令和3年度 第1回 校長「語りサロン」資料

テーマ 「ジェンダー・フリーな社会をめざして(1)

～ジェンダー・バイアスについて～



1 「出口治明が語る、日本がGAFAsを生むために必要な3つのキーワード」

出口治昭氏：ライフネット生命創業者で、APU（立命館アジア太平洋大学）学長

- IMDの世界競争力ランキングによると、日本のランキングは平成元年には世界1位。平成31年には30位。日本は「ビジネスの効率性」が低く、ビッグデータの活用や分析、国際経験、起業家精神は63カ国中最下位でした。
- 企業の時価総額ランキング。時価総額で見た平成元年の世界トップ企業20社のなかには日本企業が14社ランクインし、世界1位はNTT。現在、世界トップ企業20社にランクインしている日本企業はゼロ。

トヨタの36位が最高です。現在トップ20社は、まずGAFAs（Google, Apple, Facebook, Amazon）。

新たな産業社会の牽引役になれるユニコーンを生むキーワード

「女性」・「ダイバーシティ」・「高学歴」

- わが国の女性の社会的地位は153カ国中121位（世界経済フォーラム）。
- ダイバーシティ → ラグビーワールドカップにおける日本チームの活躍振り
- 日本の大学進学率は53%前後でOECD（経済協力開発機構）平均より7ポイント程度低い。日本は先進国のなかでは大学進学率の低い国。

（出展： <https://gendai.ismedia.jp/articles/-/73183>）

2 職の内容として、男女差が比較的少ない「教員」の現状

- 女性教員の割合は、小学校62・3%▽中学校43・7%▽高校32・5%▽特別支援学校61・9%▽大学25・9%だった。
- 小中学校や高校など教育現場での管理職に占める女性の割合が47都道府県全体で18%にとどまることが文部科学省の2019年度学校基本調査から明らかになった。

子育て中の「ママさん先生」への配慮？

優秀な教員が、組織の中で力を発揮しきれていない？

自分の「ジェンダー・バイアス」(社会的な性の役割についての思い込み度)を見直す必要性

6月7日（月）朝礼「それって『ふつう』？」 アンケート結果

No.	「これってふつう？」質問項目	バイアス高	バイアス低	
1	先生が男の子には青、女の子にはピンクのカードを使うように言いました。	23.5	43.0	33.5
2	みんな、男の子はズボン、女の子はスカートをはきます。	30.8	41.2	28.0
3	あおいさんは、いつも放課後男子と野球やサッカーをしています。	3.6	18.8	77.6
4	としおさんは、いつもランドセルにかわいいクマのぬいぐるみをつけています。	4.8	18.1	77.1
5	女の子はおとなしい。男の子は乱暴。	7.2	30.8	62.0
6	家でご飯をつくったり、洗濯したりするのはお母さんの仕事。	12.9	38.3	48.8
7	男の子は、泣いてはいけない。	2.8	16.5	80.7
8	女の子は力が弱い。	6.5	35.4	58.1
9	トラックの運転手は男の仕事。	12.9	41.5	45.6
10	僕は将来、ケーキ屋さんかお花屋さんになりたい。	6.9	8.1	85.1
平 均		11.2	29.2	59.6

これは「ふつう、男（の子）って…だよな。」「女（の子）って…だよな。」という「思い込み度（「バイアス」と言います）」を確かめるアンケートでした。例えば、7番の「男の子は泣いてはいけない。」と言われたとき、「その通り。男なんだからめそめそ泣くのはダメ！」と思う人は思い込み度が「高い人」で、「べつに男だから、女だからってことはないでしょう。」と思う人や「（そう言われると）なんか変な感じがするな。」と感じた人は、思い込み度が「低い人」ということです。今の三吾小の皆さん（4年生以上）の思い込み度は低く、多くの人が「男はこうあるべき」「女はこうあるべき」と決めつけるのは「おかしい」「何か変だ」と感じていることが分かりました。

「男だから」「女だから」ではなく、その人がどうなのかというのが大事だと考えられるといいですね。「その人らしさ」を理解し、受け止められるような世界になると、この世界はもっと住みやすいところになります。これは、金子みすゞさんの詩にあった「みんなちがって、みんないい」と誰もが考える世界で、こういう考え方を最近では「多様性（たようせい）」「ダイバーシティ」を認める・受け入れる、という言い方をしています。

令和3年6月7日（月）実施

4年	92
5年	81
6年	78
女子	107
男子	144

